

糖尿病合同
カンファレンス



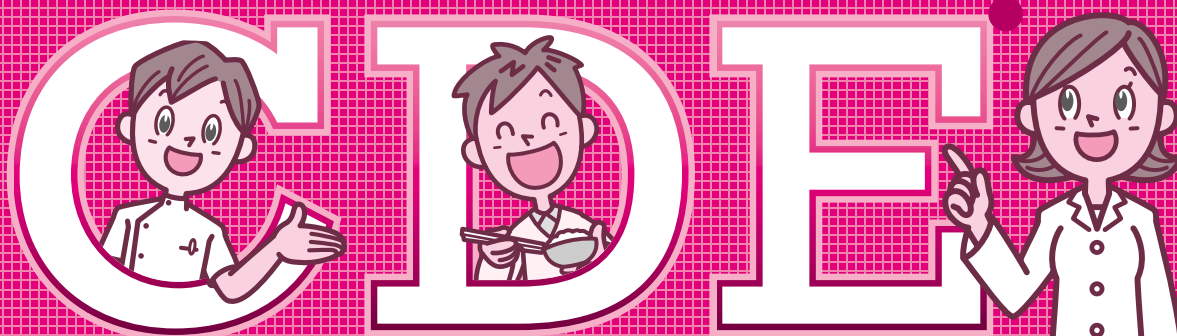
糖尿病
クッキング
スクール



糖尿病患者会
「オーリーブの会」



ご存知ですか?



糖尿病療養指導士

生活習慣病の代表である糖尿病は増加の一途をたどり、現在、その患者数は境界型を含め1620万人とされています。患者数の増加は深刻な合併症を抱える患者の増加をもきたしています。何故、糖尿病がこれほど社会的な問題になるのか考えてみましょう。



今回は、三階西病棟・榎村師長にお話を伺いました。

【糖尿病の社会的問題点】

1つには糖尿病が、その症状を自覚することなく進行し、患者様が気付いたときには既に合併症が起きていることです。

2つ目には、糖尿病の治療が患者様自身によって行われる自己管理によるところが大きいです。一口に自己管理といっても、食事・運動・インスリンなどの薬物療法に加え、血糖・血圧・体重の測定と多岐に及び、これらを生涯続けることは容易なことではありません。

このような状況の中で糖尿病専門スタッフが必要となってきました。この社会的要求にこたえて2000年に発足したのが日本糖尿病療養指導士制度(CDEJ)であり、この制度に基づき、糖尿病療養指導の専門家として認定されているのが、糖尿病療養指導士(CDE)です。

当院には9名のCDEがおり、内訳は看護師・臨床検査技師・薬剤師が各1名、管理栄養士4名、理学療法士2名です。5つの専門職が揃っている病院は県内でも少なく、当院の誇りでもあります。